

令和6年度 小金井第三小学校 第2回学校運営協議会 記録
<日時>令和6年6月8日(土)午後1時30分から午後3時30分まで
<会場>家庭科室
出席者:12名中12名参加(委員全員の出席により本会成立)

1 開会の言葉および校長挨拶

○多数の参加をいただきありがとうございます。3校時に委員の皆様と学校公開の様子を全クラス1分半程度ずつ見て回った。対話的な場面を見ていただきたい思っていたが、タイミングが悪かったかもしれない。5年生が4年生を対象にしていた発表の練習のように、相手意識や目的意識をもたせた学習を今後も充実させたいと考えている。今日は学校公開のご感想をご忌憚なくお話しいただきたい。

2 公開授業及び道徳授業地区公開講座について

- 学校の授業でコミュニケーションを大切にしていることが分かった。学校でいやなことがあっても自分で抱え込まず、伝えられるように先生が指導してくれているように感じた。このようなことを通して子供がいやな気持ちのまま、家へ帰らないようにしてくれている。
- 先生の個性が豊かで、人となりや授業に表れているように感じた。保護者は、先生一人一人の個性を認めてあげてほしいと思う。粗探しではなく、いいところを見て受けとめてあげてほしい。
- 全クラス参観したが、一クラスがほんの数分だったので、授業全体のことは良く分からなかった。それでも、教室に入ると先生と子供のよい関係の雰囲気や伝わってきた。先生の個性を認めて、若手教員の成長につなげるようにしたい。
- 学校の生活の中で日常的に起きるもめ事を、道徳などの学習を通して対応方法を考えさせる必要がある。先生は裁判官役、ジャッジマンになりがちだが、高学年になれば当事者で話し合せて解決できる力を身に付ける方がよいと思う。
- 先生の個性は認める必要はあるが、学校経営方針は一つであり、それに向かう必要もある。
- 道徳はいい話・きれいごとで終わりがち。社会はもっとリアルで厳しい世界である。分かってはいてもできないこと、人間の弱さを前面に出した方がよいのでは。先生方の意見の引き出し方は上手だが、子供の伝える力の低下を、普段異年齢の子供たちとかかわる活動をしている私は強く感じている。
- 「算数 習熟度別少人数指導」という割には人数が多くて、少人数になっている感じがしなかった。
- ICTの活用も慣れてきたようで、アナログとデジタルのうまく使い分けがされていた。道徳は確かにきれいごとも多いが、子供からネガティブな思いも引き出しながら進めている授業や本音を引き出しながら進めていた様子も見られた。
- 生活科でミニトマトの観察をしているところを見たが、子供たちの笑顔を引き出すために先生がかなり努力しているように思う。外国語の授業では日本人教師とALTの2人体制なのが子供にとってもわかりやすくよかった。

3 令和6年度大房岬移動教室実施報告

4 熟議について

2学期学校公開日の9月7日(土)の午後、13:30より開催予定

5 事務連絡

6 閉会の言葉(副校長)